

こぼれ話5

面白い地名の由来あれこれ

古くから人びとに呼ばれ親しまれてきた地名には、土地の形状（崖を表すハケ、谷を表すヤトなど）、人名（源兵衛島など）、象徴的な建造物（一里塚など）など、さまざまな由来を持つものがあります。面白い地名の由来をいくつか紹介します。

▼大久保（多摩平5〜7丁目付近）

雪が積もる頃や雨が降ると水がたまる場所があり、大男ダイダラボッチの足跡だという伝説がある。

▼くろどん台（程久保1丁目）

九郎判官 源 義経が奥州平泉に逃げるときに、平山季重の手引きで隠れたという洞穴があった。

▼木伐沢（南平）・番匠谷戸（程久保）

高幡の不動堂を再建するときに、木材を切り出した場所を木伐沢といい、金剛寺造営にたずさわった番匠（大工）が住んでいた場所を番匠谷戸という。



▲義経伝説の地にある「かくれ穴公園」